

第3学年 組 道徳学習指導案

指導者

1 主題名 あたたかい心

2 資料名 「おじいさん、どうぞ」 (光文書院 改作) 2 - (2) 思いやり・親切

3 指導観

- 本主題は、困っている人を思いやり、親切にすると、相手だけではなく自分の心をも嬉しくすることに気付き、困っている人に進んで親切にしようとする心情を育てることを主なねらいとしている。
思いやりとは、困っている人への共感であり、親切とは、困っている人に差しのべる行為ととらえる。思いやりは、困っている人に対し、放っておけない慈しみの心情であり、これには、相手の心情を汲みとり押し量る力が必要になる。この力は、人間が社会の中で相手とよりよく生きていく上での基盤となる。また、親切という行為によって、人々はお互いに扶助することができる。
本資料は、主人公が迷いながらもおじいさんに席をゆずり、自分自身も嬉しい気持ちになるという話である。おじいさんの「にこっとした顔」によって、子ども自身も嬉しくなったその心情を実感することができる。
- 本学級の児童は、人を思いやることや、人に親切にすることの大切さを理解している。実際に、誰かが困っている場面に出くわすと、心配したり、手伝ってあげたりする様子もよく見かける。低学年の子に対しても優しく接したり、体調がわるい子を心配して優しく声かけをしたりしている。しかし、どうして親切にするのかと問われると、大抵の児童は、「誰かが困っている場面では、助けるべきだから」と答えるだろう。または、どこかに「ほめられたい」という気持ちがあると思われる。こういった意味で、本学級の児童は、まだまだ他律的であるという課題がある。
そのような児童に、この資料を通して、親切にすることは、相手への一方通行の行為なのではなく、その行為によって自分の心をも温かく、よりよいものにしていくことができるということに気づかせたい。そして、「決まっている」、「べきである」からするのではなく、内発的・自律的に行動できる児童を育てたい。
- まず、めあて意識をもたせるために、迷いながらも親切にした体験を想起させる。資料を読んだ後は、主人公やおじいさんの置かれている状況を的確に把握させるために黒板に短冊を貼付する。次に、主人公が迷っている心情に共感させるために、吹き出しを書かせ、それをもとにして役割演技を行う。そして、ねらいとする価値に迫らせるために、席をゆずった後の主人公の心情に共感させるために役割演技を行い話し合う。最後に、価値を実現しようとする心が自分にもあることに気付かせるために、親切にして嬉しくなった経験について話し合う。終末では、実践意欲と態度を育てるために、BGMを流しながら、親切に関わりのある温かくなる場面をスライドで提示していく。

4 本時の目標

困っている人を思いやり、親切にすると、相手だけでなく自分の心も嬉しくなることに気付き、困っている人に進んで親切にしようとする心情を育てることができる。

5 準備

児童：心のノート

教師：資料、短冊、場面絵、道徳ノート、CD、CDプレーヤー、パソコン、プロジェクター、スクリーン

6 展開

配時	主な学習活動と内容	教師の指導・支援	評価規準
	1 親切にした場面を想起しながら、めあてについて話し合う。	※課題意識を生み出すために、迷いながらも親切にした体験を尋ねる発問を行う。 困っている人を見て親切にしたことはありませんか。	・迷いながらも親切にしたのはどうしてか不思議に思っている。
	めあて：まよいながらも親切にしたのはどうしてか考えてみよう。		
5	2 資料「おじいさん、どうぞ」を読んで、主人公の心情について話し合う。 (1) 資料を読む。	※ 主人公やおじいさんの置かれている状況を的確に把握させるために短冊を黒板に貼付する。 こみあっているバスの中でやっと座れたとき、ぼくはどんな気持ちになったでしょう。	・主人公が置かれている状況を的確に把握している。
15	(2) やっと座れたぼくの心情について話し合う。 (3) 立ったままの腰の曲がったおじいさんを見たときのぼくの心情について話し合う。	※迷っている心情に共感させるために吹き出しに書かせる。また、役割演技1を行う。 立ったままの腰の曲がったおじいさんを見たときのぼくは、どんな気持ちで迷っていたでしょう。	・主人公が声をかけるかどうか迷っている心情に共感している吹き出しになっている。
20	(4) 席をゆずった後のぼくの心情について話し合う。	※親切にすることによって、相手だけでなく、自分自身の気持ちも嬉しくなることに気づかせるために役割演技2を行う。 おじいさんがにっこり笑ったとき、ぼくはどんな気持ちになりましたか。	・役割演技を見て、自分も嬉しくなった主人公の心情に共感している。
30	3 親切にしてうれしくなった経験について話し合う。	※価値を実現しようとする心が自分にもあることに気づかせるために、親切にされて喜ぶ相手の姿を見たときの自分の心情について想起させる。その際、場面を適宜助言していく。	・自分にも親切にして自ら温かくなった経験があることに気づいている。
41	4 親切にしている場面のスライドを見る。	※実践意欲と態度を育てるために、BGMを流しながら、心が温かくなるような親切に関わる場面をスライドで提示していく。	・困っている人に親切にして自分も相手も温かくなれる心を大きく育んでいこうという意識を高めている。

7 板書計画

